

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 思想とは何か ③ 思想はシステム

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&amp;A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

### 思想とは何か ③ 思想はシステム

思想は体系的でシステムをなしている。哲学的な基礎理論から歴史の見方、経済や政治に関する考え方、日常的な実践方法まで一つの体系・システムととらえることが必要です。

#### 1. 「Democratic Socialism」とは

「Democratic Socialism」という考え方は、これまで日本では「民主社会主義」とか「社会民主主義」と訳されてきました。民主社会主義と社会民主主義ではその内容には大きな違いがあるという人もいます。

当時（明治・大正・昭和初期）は思想的に未成熟で情報伝達も未発達、当時の社会の無理解や封建的な社会体質などの理由で、ほとんどの学界やマスコミは、マルクス主義や無政府主義を始めとする過激な思想の影響を強く受け、またその後の東西のイデオロギー対立で、その違いを過大に見る傾向もあり、マルクス主義ではない健全で民主的な社会主義に対する理解が十分ではなく、その区別も不十分でした。

イギリスや当時の西ドイツ、スウェーデンでは、民主社会主義的色彩が強かったのですが、フランスやイタリアでは、社会民主主義的色彩が強い傾向がありました。

また、日本ではマスコミや学界を中心に「Democratic Socialism」を「社会民主主義」と訳してきましたので、「民主社会主義」という言い方はあまり一般化しませんでした。

#### 2. 社会主義インターとDemocratic Socialism

この考え方が生まれた背景として、第二次世界大戦の前後に台頭してきたソビエト連邦を中心とするコミンテルンやその後のコミンフォルム等の共産主義勢力に対抗するために、社会主義インターという国際組織がつけられました。そこで結集したイギリスや当時の西ドイツ、スウェーデン等の西ヨーロッパの国々の政党がその基礎としていた考え方が「Democratic Socialism」（民主社会主義）であり、それぞれの国の労働運動でも運動を進める上での基本になっていました。

その基本は、イギリス労働党の中心的理念であるフェビアン主義の考え方、ドイツ社民党のヘルンシュタインの考え方、スウェーデン社民党の「機能主義的社会主義」の考え方の三つがその思想形成に大きな影響を与えてきました。

しかしながら、東西の二極冷戦構造がなくなり、またグローバルな時代を迎え、社会の変化が大きくなり、新自由主義の考え方が大きな影響を持っている現在、この「Democratic Socialism」を私たちはどのように捉え、発展させていきたいのでしょうか。

思想とは何か④ ⇒

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

## Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.